

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

事業名	令和6年度アーティスト・イン・スクール				
担当課	文化課	担当者	榎原	連絡先	2888

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム
最も該当する施策	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム
関連目標・施策	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム

事業の概要

開催年度	令和6年度		
開催経緯	市内での若手アーティスト活動の場の創出、アートを通じた市民の施設利用の促進、展覧会場近隣施設の連携、将来のアーティスト育成を目指し、令和6年度より開催。		
事業目的	<p>本事業では、児童生徒が鑑賞から制作、展覧会までをアーティストと共に経験できるプログラムとなっている。制作した作品を公民館という身近な場所で展示することで、児童にはアートを身近に感じてもらうとともに、展覧会場となる施設に愛着を持ってもらい、将来的な利用に繋げることを目指す。</p> <p>また、講師を依頼するアーティストは、市にゆかりのある作家はもちろんだが、市外で活動するアーティストにも講師となってもらい、市のことを知って貰いながら展覧会を作りあげることで、新たに市との縁を作つてもらうことを目的とする。</p> <p>そして、展覧会場となる公民館では関連イベントを実施し、対象の児童生徒だけでなく、一般来場者がアーティストと関われる機会をつくる。また、施設周辺にある商業施設にも協力してもらい、講師作品を展示してもらうことで、地域全体でアートに触れられる機会をつくり「アートでつながるまち」の実現を目指す。</p>		
定性目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がアーティストと共に鑑賞・制作・展示を経験する機会を創る。 地域住民の身近な施設で展覧会を行い、アートに触れることで、市で行われるアートに関心をもって貰い、今後の活動への参加を促す、というアートを通じて人とまちを繋げる。 若手作家や市で活動の場を探すアーティストの活動機会を創出する。 		
定量目標	<ul style="list-style-type: none"> 目標の来場者数を達成する 		
対象	地域住民		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> アーティストが講師となり、小中学校1校1学年で授業を行う。授業では、鑑賞、作品制作、展覧会見学会を実施し、成果物は市内施設にて展示を行う。 展覧会期中には関連イベントとして一般を対象にした講座やアーティストトークを実施。また、展示会場周辺の商業施設に作家作品を展示する。 		
実施主体	文化課	市との関わり	主催
情報発信	<input checked="" type="checkbox"/> 広報ふなばし <input checked="" type="checkbox"/> Facebook	<input checked="" type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> X	<input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（文化課Instagram）

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

経年

年度	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
事業費＝決算額	0	0	0	582,520	730,286
市予算				582,520	730,286
補助金・協賛金等					
その他（）					
人工（常勤職員）				2	2
人工（会計年度任用職員）				2	2
その他人工（公民館・他施設）				2	3
定量目標値				入場者数2,000人	入場者数1,000人
定量目標値の設定根拠				展示会場がロビーであることから、普段の利用者数・会期・会期中のイベント（選挙）等をふまえて設定	対象校の児童数、会期と会期中のイベント（公民館文化祭）、普段の利用者数をふまえて設定
定量実績値				3,000人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%				来場者数3,000人 アンケート回答数77人 アンケート回収率 2.5%	
事業内容 ※現年度は計画				アーティスト・イン・スクール授業 1月28日(火)、2月4日(火)、6日(木)、18日(火)、3月6日(木) 作品展「HOME－思い出と未来が集う場所－」 【会期】令和7年2月23日(日)～3月15日(土) 【会場】高根台公民館3階ホール	アーティスト・イン・スクール授業 9月9日(火)、12日(金)、16日(火)、10月3日(金)、11月13日(木) 作品展 【会期】令和7年11月1日(土)～11月16日(日) 【会場】小室公民館1・2階ホール
定性目標の実績について 経緯・変遷	アンケート回答者の約9割が展覧会に満足と回答。会場では、作品やアーティスト、事業について質問や意見を来場者から多数寄せられ、市民のアートへの関心の高さが実感できた。また、普段とは違う公民館の空間を楽しむ利用者の姿を見ることができた。 学校での授業では、アーティストから直接授業を受けることで、アーティストの仕事について児童が具体的に知ることができた。また、児童が書いたワークシートからは、この授業をきっかけにしたアーティストやものづくりに対する関心の高さや考え方の変化を見ることが出来た。				
自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業PR・補足説明等、自由に記入する。)	<ul style="list-style-type: none"> ●毎回授業の後に制作の記録を児童に書いてもらい、授業内でできなかった質問等を講師に伝えるコミュニケーションの場を設けた。 ●展覧会期間中は、中学生以上の大向けの実技講座「木彫りのプリンを作ろう！」と一般向けのアーティストトークを実施。 ●会期中に回収した感想・メッセージを会場に展示し、来場者同士の感想を共有し楽しめるようにした。 				

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

事業評価

評価対象年度	令和6年度
評価実施年度	令和7年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。

4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 ■	5 □
	評価理由	アンケートの結果や来場者の声、事業実施校からの意見から、本事業を通してアーティストを地域住民が身近に感じ、アートに触れる機会をつくることができたということが分かったため。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 ■	5 □
	評価理由	目標としていた来場者数を上回ることが出来たため。				

文化振興推進協議会に助言・提案を求めたいこと（何が課題か、どのような助言を求めたいか、明確に記入すること）	課題
	本事業は対象の学校と地域を毎年度変えるので、アートへの関心が一時的となる。
地域住民、特に児童生徒に事業後もアートに関心を持ち続けてもらうためのフォローアップについてご助言いただきたい。	求めたい助言

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・今後の事業展開への助言・提案	<ul style="list-style-type: none"> 予算の問題はあるだろうが、様々なアーティストを招いて多くの学校で実施してほしい。 素晴らしい事業だが、充実しすぎているために受け入れ可能な学校が限られることが懸念される。今後、より軽量な形式（例：2回の訪問）で実施し、開催校を増やすことも一つの方向として提案する。 学習内容、年間計画、時数の問題など学校の事情をよく理解しているアーティストに頼めればベストである。 アーティストの視点から、学校側の事業受け入れ態勢についての認識、事業に対する学校側の熱意や理解度、について声や提案を聞いてみてはどうか。 参加者に市内及び近隣の美術館のアート関連のプログラムを紹介してみてはどうか。例えば、市内のアンデルセン公園のこども美術館のチラシを参加者に配布するなど。
-------------------------	--

フォローアップ

今後の対応 (文化振興推進協議会委員による二次評価を受けての対応を記入してください。)	一昨年（令和6年度）に初開催し、小学校1校（高根台第二小学校）で実施し、上記のような評価等をいたしましたが、今年度（令和7年度）については、開催時期等の関係から同様の小学校1校（小室小学校）での開催となりました。受け入れ学校数が限られると助言がありましたことから、来年度（令和8年度）については、視点を変え、アーティストが地域の公民館を拠点に事業を展開していくことを考えております。公民館を拠点とすることで、学生だけでなく、地域住民を巻き込み、アーティストと市民が鑑賞、制作、展示、展覧会の開催を共に経験できるような事業になるよう、予算要求を行いたいと思います。なお、来年度（令和8年度）も引き続き拠点公民館界隈の学校での授業を行うことも検討しておりますが、過去2回がクラスが少ない学校で実施したことから、今後の事業展開を見据え、クラス数の多い学校で行うことを検討しております。また、実施校の選定についても、事業に対する学校の熱意や理解を重視したいことから、現在の文化課からの直接依頼から、希望制に変更できるよう努めています。
--	---

対応の結果 (無理に結果を作り出す必要はありません。結果が出た場合のみ記入してください。)	
--	--